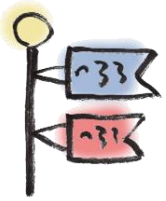
令和３年　５月　　自家焙煎珈琲　十　三　夜　　皐　月



今月は、田んぼに水が入り、越後平野が１番美しい季節だと私は思っています。
あぜ道の雑草の緑さえも電車の窓から眺めたらイキイキして。
こいのぼりがいくつ上がっているか、数えて。
若かりし時、電車通勤していた頃の思い出です。
今では、こいのぼりが上がっていたら、ちょっと感激ですね。
大人になると、こいのぼり上げる労力の方に気持ちが入ってしまいます。
思春期で反抗期の娘の喜ぶ顔を見る努力をしてみようかな。

５月５日はこどもの日

営業時間変更と臨時休業のお知らせ

５月７日（金）15:00 閉店

５月 17 日（月）都合によりお休みいたします。

大変心苦しいお願いです。

コロナウィルスのみ元気な今日この頃。ワクチンの接種がすすむことを期待しています。
感染が拡大している地域へ出かけた方、帰省の方は、
一定期間、飲食のご来店をお控えくださいますようお願いいたします。

なるべく、焙煎仕立ての珈琲を飲んで頂きたい。私の願いです。

ブレンド十三夜は毎日焙煎いたしますが、
ストレートコーヒーは焙煎を休む日もありますので、ご予約いただけますと確実です。

十三夜の珈琲は冷凍庫で保存してください

☎0250-24-6631　ホームページ：カフェ 13ya で検索してください

《　焙煎室より　》全部を揃って焙煎する事はありません。ご予約ください。

『パプアニューギニア　マウントミカエル　ウォッシュト』　100ｇ/￥500

パプアニューギニアのイーストハイランド州にそびえる「Mt.Michael(マウントミカエル)」。中でもカイナンツエリアは、パプアニューギニアの中でも最も早くからコーヒーが栽培されてきたとされる地域で、火山性の肥沃な土壌により、豊かな香り・芳醇な味わいのコーヒーが育ちます。（商品説明より）

豆の紹介ページに生産者の写真がありまして、この人たちが作った珈琲を是非飲んでみたくなりました。

『コンゴ　コーパデ組合ウォッシュ　ローランドゴリラ』　100ｇ/￥540

アフリカコーヒーの美味しさの秘密と言われている大地溝帯（グレートリフトバレー）。その西リフトバレーに位置する産地がコンゴ民主共和国です。
香味は「花・紅茶・チェリー・ライム」といった色々なものが口いっぱいに広がり、そして鼻に抜けます。コパーデ組合は、2014 年に設立されました。
小農家の皆さんが自主的に自分たちのコーヒーを自らの手で最高のものに仕上げようと小さな組合が出来上がり、徐々にその規模を拡大していきました。 今では、ロンドンに拠点を置く「Farm Africa」が EU プロジェクトとしてこのコパーデ組合ともう一つの組合を大きく支援し、コーヒー栽培技術の向上、精選方法技術の向上、環境保全活動のための環境教育とその具体的な活動をしています。環境保全活動は、広大なビルンガ国立公園内のローランドゴリラを含めた野生動物の保護活動を中心とした環境保全をしています。（商品説明より）

この紹介ページにも生産者の写真がありまして、見るからに陽気な女性たちが写っていました。この人たちが作った珈琲も是非飲んでみたくなりました。動物の名前にも購買意欲が湧いちゃいます。

『ルワンダ　ニキキターナー』 100ｇ/￥560

千の丘の国と呼ばれる肥沃な丘陵地で栽培されるルワンダコーヒーは、その品質水準の高さで、近年のスペシャルティーコーヒー市場で大きな広がりを見せています。
2400 メーターにも達する耕地は、豊かな土壌に恵まれ多くの農家が古くからキャッサバ、豆類、野菜などを生産しています。しかし、各農家の作付面積は小さく、安定した現金収入のない農家の生活は、子供の教育費にもことかくような水準でした。
英国で建築会社を経営し、ルワンダ西部で慈善事業を展開していたマルカムと、ルワンダ出身のジャクリーンの二人のパートナーが設立した R&B Import Export 社が、ルリンド地区の農家にコーヒー栽培の指導と援助を始めたのは 2012 年のことです。先ずコーヒーを生産することが農家の生活向上につながることを丁寧に説明し、農園が生産年齢に達するまでの生産指導と資金援助を約束、その見返りに彼らの経営するキニニ水洗工場にチェリーを販売する契約を交わしました。現在までに６００軒を超える農家がこのプロジェクトに参加しています。2016 年に最初の本格的なチェリーの収穫が始まり、その品質の高さは、期待通りの最高級レベルであることが確認されました。（商品説明より）

この豆の紹介ページにはキニニ水洗工場と思われる写真がありまして、それが私には非常に魅力的で。私も作業してみたい。と思いました。５月は写真に魅了された３種類をご紹介いたします。